

空手道競技(全種別) 10月1日~3日 出石中学校体育館

# 絆深まった民泊 豊岡出身の稲垣選手が個人優勝



▲会場は、選手の気迫あふれる競技と大勢の観覧者の歓声で盛り上がりを見せた

空手道競技では、選手・監督を一般家庭で受け入れる民泊でもてなし、これを支えた出石地域の各協力会が、思考を凝らした歓迎会・送別会などで、大変な盛り上がりを見せました。

また、豊岡出身の稲垣宏実選手は、強豪を次々と破り、見事成年女子形で個人優勝。同じく本市出身の岡田豊弘選手は個人組手2回戦で惜敗しましたが、持ち前の攻めの姿勢で大いに会場を沸かせていました。



▲選手の応援で会場に来た協力会の人たち



▲男女総合、女子総合で優勝した兵庫県選手団



▲宮城県選手団を受け入れた水上協力会でも9月30日、盛大な歓迎会が催された



▲出石中学校の生徒が設置した歓迎のぼり旗が歓迎ムードを盛り上げた



▲形競技で心を込めた技を披露する稲垣選手

## 地元の応援に感謝



成年女子形兵庫県代表  
稲垣 宏実さん  
(豊岡市出身)

この国体は、私にとって特別なものがありました。もちろん地元開催ということもありますが、会場は学生時代に大変お世話になったところ。対戦相手は、憧れの先輩ばかりで胸を借りるつもりで、『一発やっつろう』と挑みました。応援していただいた皆さんありがとうございました。

## 「民泊」偉業を達成



出石国体協力会連絡協議会会長  
中西 郁夫さん  
(出石町宵田)

「なぜ、民泊？」という声もあった中、出石は敢然と「応戦」し見事に「偉業」を達成しました。今「勝った！」と叫ばせていただきます。500を超える選手たちは「出石」を土産に帰りました。きっと友達に語っていただいていることでしょう、出石のことを。みんなおおきに！本当にありがとう。

## 感動をありがとう



空手道競技運営委員長  
大森 昭一さん  
(出石町松枝)

あつという間の3日間でした。空手道競技は、教育現場を競技会場に、また、選手・監督を民泊でお迎えするなど他とは違う形での開催でした。若者が全国から持ち寄ってくれた活力に力いっぱいに対応ができたことを確信しています。裂帛の気が城下町にこだましました。感動をありがとう！

# デモスポ行事には多くの市民が選手として参加

デモスポ行事として、10月1日はフィールドゴルフが但東フィールドゴルフ場で、10月8日は健康マラソンが竹野中央公園多目的グラウンド周辺で行われました。また、スポーツ芸術として、9月30日から10月10日にかけて、コウノトリ文化館で世界のコウノトリ目展が開催されました。県民なら誰でも参加できるこれらの行事も大いに盛り上がりました。



▲大自然に囲まれたコースでフィールドゴルフを楽しむ参加者たち



▲爽やかな秋晴れの下、参加者たちは元気よく風をきって健脚を競った

## うれしいメダル



古田 峰子さん  
(神戸市垂水区)

フィールドゴルフ行事に出場できてとてもうれしかったです。但東町の子もたちからいただいた手づくりの「はばタン記念メダル」は一生の宝物にします。

## 楽しかったです



土方 祐樹さん  
(但東中学3年)

小・中学生の部の個人と団体で1位になり、正式競技と同じメダルが2つももらえて驚きました。地域やスタッフの皆さんにありがとうと言いたいです。

## いい思い出作れました



藤平 正廣さん  
(竹野町草飼)

国体が、ここ竹野町でも開催されるということで、家族で参加しました。家族揃ってのマラソンは初めてでしたが、とっても気持ちよかったです。

## 自然の中を走る爽快感



太田 明さん  
(森本中学2年)

僕にとって5キロメートルは長い距離だったので、走っていて苦しかったです。でも、頑張ったので1位になれてとてもうれしいです。

## 感謝とお礼

国体では、市民の皆さんの温もりあふれる、豊かな地域性を活かした数々の“おもてなし”を通して、元気な豊岡の姿を全国に発信し、多くの豊岡ファンをつくることができました。



そして、「民泊」や「地域応援団」をはじめとした、市民総参加の国体開催は、必ず、これからの地域づくりにつながっていくものと確信しています。

豊岡の国体は、開催を支えていただいたたすべての方が主役でした。多くの市民の皆さんに心から感謝とお礼を申し上げます。

“ありがとう 心から とよおかから” 皆さんありがとうございました。

のじぎく兵庫国体 豊岡市実行委員会

## 世界のコウノトリ目展



▲一堂に集まった12羽のはく製コウノトリを見学する観覧者



▶高円宮妃殿下も10月3日にご覧になられた